【アマモ育成環境整備】

清掃活動を通じてアマモの育成環境の整備を行う

活動の場所	浜名湖

活動目的

1.浜名湖の豊かな水産生態系を回復させるため、アマモを増やす活動を推進する。
2.地域に生息していた生物資源を回復させる環境づくりを行う。
3.家族で活動に参加し、環境保全や生物多様性についてコミュニケーションを深めると共に、環境教育の一助とする。

活動内容

〇浜名湖の南半分は水深1～2mほどと比較的浅く、半干潟上の砂地が広がります。水が澄み明るいこの場所では、海草の一種のアマモが群生しています。自ら光合成を行うアマモは水を浄化させる役割もあります。浜名湖は都心のそばにありながら、日本最大級のアマモ場が広がる貴重な場所でもあります。アマモ場は大きな魚が侵入しにくいため、海の生き物や魚の産卵場となったり、隠れ家になるなど"海のゆりかご"とよばれています。近年浜名湖の生態系のバランスが崩れ、アマモが激減しています。アマモの減少はアサリやエビの不漁につながっています。浜名湖の豊かな生態系を取り戻すためアマモ再生プロジェクトが進行しており、アマモの植え付けや育成体験などが行われています。アマモの減少は生態系と経済の両面に深刻な影響を及ぼします。
〇「小さな親切」運動静岡県本部では、舞阪の自然を守る会の方々と協働で浜名湖のいかり瀬周辺のプラごみ等を拾い、シバムギを抜き取る活動などを通じて、アマモを増やすための周辺環境の整備を行っています。

PRしたいポイント

〇多様な生態系が営まれる浜名湖の環境を回復させるため、地元団体と協働でアマモの再生に取り組んでいる。
〇浜名湖や、その周辺に暮らす生物の観察などを行い、環境教育に繋げている。
〇観光資源の保全、再生を通じて、地域創生へと繋がる活動を行っている。

活動効果、今後の展開　等

〇浜名湖のいかり瀬の清掃、整備を通じて環境への意識が高まり、参加した子供にも自然とふれあう良い機会となっている。
〇今後も活動を企画する団体と協働で浜名湖のアマモ再生に取り組んでいく。

「小さな親切」運動静岡県本部

http://www.across.or.jp/kindness

ホームページ

Instagram